


【プログラム11：夢をもとう！】

《 形態：全 → 全体 個 → 個人 G → グループ 》

時間	形態	講座の流れ
1分	全	1. ねらいを確認する。【1分】 [キーワード] 
26分	全	2. 「生徒に伝えたい夢や希望に関する格言等」を知る。【5分】
	個	3. 夢とは何か考える。【3分】 「夢」には、英語で言う「ビジョン (Vision)」と「ドリーム (Dream)」があることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <このプログラムでの捉え方> <input type="checkbox"/> ビジョン (Vision)・・・将来のある時点でどのように成長していきたいか等の構想や未来像。 <input type="checkbox"/> ドリーム (Dream)・・・できるかどうかわからないことも含めた実現したいこと、夢一般のこと。 </div>
	個 G	4. 「いろいろな夢を描いてみよう！」を通して考える。【13分】 (1) いろいろな夢を付箋に書き出す。 (2) 「Vision」と「Dream」に分類する。 ※「何も思いつかない」という生徒には、「3年後には何をしている？」や「今度の長期休みの時には何がやりたい？」等の問いかけをし、より具体的なものとして考えさせるような工夫をする。
	個	5. 「Vision」について考える。【5分】 ○自分が考えた「Vision」を達成するために今できることはどんなことか、また、夢 (Vision) が実現するまでにはどんな準備が必要か考える。 ※4 (1) の活動での付箋から1つ選び、付箋に朱書きし、グループシートに貼る。
3分	全	6. まとめ【3分】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ・夢をもつことは自分の人生の目標にもなり、達成できた時の喜びや充実感は感慨深いものである。 ・夢が全て実現できるものではないが、夢に向かって進む過程は、自分自身が成長する糧になる。 ・今の生活に満足して夢はいらないと思う時もあるかもしれないが、自分自身の人生を豊かにしていくためにも、大小問わずいろいろな夢をもってほしい。 ・自分の将来のビジョンをもっている時は、その実現に向けて、今何ができるかを考え、進んで (取り組んで) ほしい。 ・まずは、実現できそうな目標を掲げ、取り組んでいこう。 </div>

【親になったときに考えてもらいたいこと】

- ・自分の夢や経験を子どもに話せることは素晴らしいことである。実際に実現できた夢、途中であきらめた夢などいろいろな夢を語れる人になってほしい。そして、子どもにも夢をもたせてほしいし、子どもの夢を応援してほしい。